

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
医療技術学科 (臨床検査学専攻)	臨床検査総論Ⅰ	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	臨床検査の意義と臨床検査の基本事項を学習する。尿検査や髄液検査などの検体の取扱いから検査法について学習する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査総論実習Ⅰ	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	臨床検査業務に必要な採血の手技や尿のスクリーニング検査などの基礎技術を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、臨床現場で行われている技術を教え、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査総論Ⅱ	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	尿沈渣等の形態学的検査、寄生虫等の医動物学の基本事項を学習する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査総論実習Ⅱ	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	尿沈渣等の形態学的検査、寄生虫等の医動物学の実習を行い、臨床検査技師に必要な知識と技術を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、臨床現場で行われている技術を教え、より実践的な授業を展開している。</u>
	検査総合管理学	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	現代医療において、臨床検査データは診断・治療を行う上で不可欠なものとなっており、臨床検査技師は信頼できる検査結果を提供しなければならない。そのためにも、必要な検査室の管理・運営、精度管理方法、検査結果の評価方法について学習する。 <u>病院での管理職経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床微生物学	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	病原微生物の分類、構造、増殖など形態や性質の違いを学習し、さらに消毒・滅菌法、化学療法剤の種類や特徴、薬剤耐性機構など臨床検査技師として微生物を取り扱うための基礎知識を修得する。 <u>病院での認定臨床微生物検査技師の経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	公衆衛生学	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	医療従事者として必要な公衆衛生の概念と基本的な内容を学習する。 <u>病院での管理職経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療安全管理学	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	医療の質と安全を確保するために、医療現場で行われている必要な業務を把握し、医療事故を未然防止、苦情相談などの関連する基礎知識を学習する。また、検査説明や検体採取ができる知識を修得する。 <u>病院でのリスクマネージャーの経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医療安全管理学 実習	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	医療の質と安全を確保するために、医療現場で行われている必要な業務を把握し、医療事故を未然防止、苦情相談などの関連する基礎知識を学習する。また、検査説明や検体採取ができる知識を修得する。 <u>病院でのリスクマネージャーの経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	関係法規Ⅱ	板羽 秀之	臨床検査技師として 病院勤務 (1975～2011)	現代医療はチーム医療の果たす役割が大きくなってきている。医療人としての役割や医療の法的なとらえ方など学習する。 <u>病院での管理職経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床生理学	川中 洋平	臨床検査技師として 病院勤務 (2002～2011)	臨床現場で活用されている臨床生理検査について原理・検査方法・対象とする疾患等について学修する。 <u>病院勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床生理学実習	川中 洋平	臨床検査技師として 病院勤務 (2002～2011)	臨床生理学で学修した内容を実践し、理解を深める。 <u>病院勤務経験を活かし、現場で行われている技術を伝えるなど、臨床に即した実践的な授業を展開している。</u>
	人体生理機能学 実習	川中 洋平	臨床検査技師として 病院勤務 (2002～2011)	人体生理機能学で学修した内容を実践し、理解を深める。 <u>病院勤務経験を活かし、現場で行われている技術を伝えるなど、臨床に即した実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	病理組織細胞学 実習	川中 洋平	臨床検査技師として 病院勤務 (2002～2011)	病理組織細胞学で学修した内容を実践し、 理解を深める。病院勤務経験を活かし、 <u>現場で行われている技術を伝えるなど、臨床に即した実践的な授業を展開している。</u>
	人体構造学実習	川中 洋平	臨床検査技師として 病院勤務 (2002～2011)	人体構造学で学修した内容を実践し、理解 を深める。病院勤務経験を活かし、 <u>現場で 必要とされる知識を伝えるなど、臨床に即 した実践的な授業を展開している。</u>
	国際臨床工学	中山 寛尚	JSPS 海外特別研究 員として米国留学 (2011-2015)	海外における医療、大学生活、文化を海外 研修を通して修得する。 <u>海外留学経験を生 かして、本学学生と現地スタッフとの交流 を円滑に進めることができる。</u>
	国際臨床検査学	中山 寛尚	JSPS 海外特別研究 員として米国留学 (2011-2015)	海外における医療、大学生活、文化を海外 研修を通して修得する。 <u>海外留学経験を生 かして、本学学生と現地スタッフとの交流 を円滑に進めることができる。</u>
	遺伝子・染色体検 査学演習・実習	中山 寛尚	大学研究センター兼 医学部助教 (2015-2017)	遺伝子・染色体に関わる基礎的知識と遺伝 子検査の原理を修得する。また遺伝子検査 を実践することで、さらに理解を深めるこ とを目的とする。 <u>生命科学に関わる先端技 術や応用技術を扱った経験を生かしてより 実践的な授業・実習を展開している。</u>
	卒業研究方法論	中山 寛尚	大学研究センター兼 医学部助教 (2015-2017)	基礎研究に関して、研究目的、方法、総括 までの一連の流れを解説する。これまでの 研究経歴を紹介して学生に基礎研究への理 解・興味を引き出すことを目的とする。 <u>生 命科学に関わる先端技術や応用技術を扱っ た経験を生かしてより実践的な授業を展開 している。</u>
	生化学	中山 寛尚	大学研究センター兼 医学部助教 (2015-2017)	生化学では、医学の基礎となる糖質・蛋白 質・脂質・遺伝子などの基礎的内容を講義 する。 <u>医学部 医学科における講義経験を 生かして基礎的内容から高度な内容まで幅 広く授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	卒業研究	中山 寛尚	大学研究センター兼 医学部助教 (2015-2017)	基礎研究に関して、研究目的、方法、総括 までの一連の流れを解説し、設定した研究 テーマに基づいて研究を遂行する。研究成 果は卒業論文としてまとめ、研究発表を行 い討論を行う。 <u>生命科学に関わる先端技術 や応用技術を扱った経験を生かしてより実 践的な研究を展開している。</u>
	臨床血液学	中原 正子	臨床検査技師として 病院勤務 (2009～2011)	血液学の基礎について学修する。血球形態 や血球の機能、血液凝固の仕組みを知るこ とで、検査結果を正しく読めるようにする。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な 授業を展開する。</u>
	臨床血液学実習	中原 正子	臨床検査技師として 病院勤務 (2009～2011)	血液学検査の正確な手順、理論や機序、な らびにデータの読み方や、データから得ら れる臨床的意義について学修する。特に感 染予防の面から血液の扱い方について注視 する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実 践的な実習を展開する。</u>
	臨床血液学演習	中原 正子	臨床検査技師として 病院勤務 (2009～2011)	臨床血液学で学んだ内容をもとに、検査デ ータや症状から疾患が判断できるよう学修 する。また検査試薬を作成・保存する上 での注意点や、検査機器を使用する際の誤差 要因について深く理解することを目的とす る。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践 的な演習を展開する。</u>
	生命倫理	中原 正子	再生医療の研究員と して研究所勤務 (2011～2018)	<ul style="list-style-type: none"> ・不妊治療の際に必ず出る余剰胚から、再 生医療の第一歩となった ES 細胞が誕生し た。そして現在 ES 細胞の倫理的問題を払 拭できるツールとして iPS 細胞に光があた っていることを分かりやすく解説する。 ・再生医療の研究では ES 細胞を扱うため に倫理の学修が義務付けられている。不妊 治療者の声や研究者の声など<u>実務経験から 得た知識を学生に伝え、より実践的な授業 を展開する。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	卒業研究	中原 正子	臨床検査技師として 病院勤務 (2009～2011) 研究員として研究所 勤務 (2011～2018)	学生個々の興味に加え、現代の医療において重要な課題を選択する。これまで学んできた専門知識に加えて研究に必要な手法や原理、研究データの取り方、解析方法を学修し、研究論文を作成する。 <u>研究員としての経験、臨床検査技師としての経験を活かし、実践的な研究をおこなう。</u>
	臨床免疫学	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989～2012)	生体防御機構に関する免疫学の基礎的事項と免疫現象を利用した実際の検査方法および臨床的意義を学修する。さらには輸血や移植のために必要な検査の原理と方法にとどまらず輸血療法についても学修し、幅広い知識を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床免疫学演習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989～2012)	生体防御機構に関する免疫学の基礎的事項と免疫現象を利用した実際の検査方法を理解する。免疫学的検査の臨床的な内容を理解する。さらには輸血・移植の検査や管理に必要な具体的内容を理解する。病態解析に必要な幅広い知識を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床免疫学実習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989～2012)	臨床免疫学で学修した各種免疫学的検査法の基礎理論および基礎知識をもとに、試験管内での抗原抗体反応をはじめとする各種抗原抗体反応を応用した実習を行い、検査の測定原理、測定結果の解釈、病態との関連性について学修する。また、血液型や輸血副作用に関与する抗体の検出法など輸血分野における検査法についても実習を行う。これらの実習を通して、免疫学的検査の基本的な手技の修得および臨床的意義について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	移植・輸血検査学	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	輸血検査は、検査の誤りが患者の生命をも脅かす重大な過誤に直結する。緊急時にも迅速かつ正確な対応が求められ、試験管法などの「用手法の技術」、検査法の選択や結果判定における「確かな判断力」、さらに適切な輸血用血液製剤選択が必須となる。そのために必要な輸血検査の基本手技や手順、精度管理、輸血療法の実際、輸血副作用への対応などを理解・修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床血液学実習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	血液形態検査・血液止血凝固検査・線維素溶解反応検査など、各種血液検査の実習を行う。病院での臨床実習や勤務してからの血液検査室業務の基礎となる技術と知識を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	生命倫理	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	臓器移植、安楽死など医療における倫理問題は、医療の進歩と共に変化をしながら我々に問いかけてくる。臨床検査技師を目指す学生にとって生命倫理は、様々な専門教育を受ける前にしっかりと倫理的議論を行うことが重要と考える。思想・信条の異なる中で「正解」を求めるのではなく、各自が問題意識を持ち、議論していく。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	早期体験演習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	将来、臨床検査技師として働く意識・意欲を早期から高めることを目的に、臨床検査技師が働いている施設を見学・体験する。また、臨床検査技師が活躍している現場を実際に見ることで、学修に対するモチベーションを高める。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	生体防御検査学 総合演習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	微生物検査、免疫検査、輸血・移植検査、 医動物学的検査などの病因・生体防御検査 学に関連する検査法の原理、測定法、臨床 的意義、検査結果の解釈について講義し、 病因・生体防御系の機能と制御の基本的知 識と臨床検査技師国家試験にも対応した幅 広い知識を修得する。 <u>病院での勤務経験を</u> <u>活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査学演習 I	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	医学的知識、臨床検査学的知識、医用機器 に関する知識を総合的に理解し、臨床検査 技師に必要な分析力と総合力を修得する。 そして、これらの知識力が臨床検査技師国 家試験合格に相応したものにより近づけて いくことを目的とする。 <u>病院での勤務経験を</u> <u>活かし、より実践的な授業を展開してい</u> <u>る。</u>
	臨床検査学演習 II	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	医学的知識、臨床検査学的知識、医用機器 に関する知識を総合的に理解し、臨床検査 技師国家試験合格に相応した知識力になる ことを目的とする。 <u>病院での勤務経験を活</u> <u>かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査学実習	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	社会人としての良識を身につけるととも に、医療人としての倫理感を身につける。 臨床検査の現場に身を置き、臨床検査技師 として不可欠な臨床検査の基本的な実践技 術、検査情報からの病態解析を修得する。 チーム医療としての臨床検査および臨床検 査技師の役割と責任を知り、医療人として の自覚を持つ。 <u>病院での勤務経験を活かし、</u> <u>より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	臨床検査学実習 I	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	社会人としての良識を身につけるとともに、医療人としての倫理感を身につける。臨床検査の現場に身を置き、臨床検査技師として不可欠な臨床検査の基本的な実践技術、検査情報からの病態解析を修得する。チーム医療としての臨床検査および臨床検査技師の役割と責任を知り、医療人としての自覚を持つ。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査学実習 II	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	社会人としての良識を身につけるとともに、医療人としての倫理感を身につける。臨床検査の現場に身を置き、臨床検査技師として不可欠な臨床検査の基本的な実践技術、検査情報からの病態解析を修得する。チーム医療としての臨床検査および臨床検査技師の役割と責任を知り、医療人としての自覚を持つ。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査総論実習 I	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	採血の手技や血管確保時の扱いを修得する。血液や尿など、生体からの摂取物の取扱いなど一般検査に関する基礎技術を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床検査総論実習 II	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	尿沈渣等の形態学的検査、寄生虫等の医動物学の実習を行い、臨床検査技師に必要な一般検査の知識と技術を修得する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	卒業研究方法論	国分寺 晃	臨床検査技師として 病院勤務 (1989~2012)	研究対象に選んだ専門分野の知識を習得する。研究の方法を検討し、実験やデータの分析結果を考察し、研究論文としてまとめる過程を通して、協同作業遂行能力、コミュニケーション能力、評価・判断能力を養成することを目的とする。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	臨床微生物学演習	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	臨床微生物学で学修した内容をもとに、ヒトに被害を及ぼす病原微生物の鑑別や検出に必要な検査法について検体別に理解・学修する。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床微生物学実習	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	微生物検査に必要な基本的手技や操作法を習得するとともに、本実習を通して消毒や滅菌をはじめとするバイオハザード対策の基本を修得することを目的とする。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	健康食品学	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	健康食品が関係した現状と問題点について理解を深めるとともに栄養や健康食品に関する正しい知識と健康食品および保健機能食品の機能、効果、使い方、医薬品との相互作用について学修する。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	食品衛生学	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	食品に含まれる、さまざまな健康被害を及ぼす可能性のある微生物や食品添加物などの化学物質について学修し、食品の安全性の確保に必要な知識を修得する。さらに、食品や食品衛生に関する法規と行政制度、衛生管理方法についても学修する。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床免疫学	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	生体防御機構に関する免疫学の基礎的事項と免疫現象を利用した実際の検査法および臨床的意義を学修することを目的とする。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目 (医療技術学科〔臨床検査学専攻〕)

医療技術学科 (臨床検査学専攻)	臨床免疫学実習	藤本 浩章	臨床検査技師として民間臨床検査センターに勤務（1996～2007）	免疫現象を利用した実際の免疫学的検査に必要な基本的手技・操作法を習得し、免疫学的検査の臨床的な内容を学修する。さらに、本実習を通して病態解析に必要な幅広い知識を修得する。 <u>民間臨床検査センターでの勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床病態学Ⅰ	楠本 智章	医師として病院勤務（2004～2019）	臨床検査技師および救急救命士になるために必要な各種内科系疾患について理解し、それぞれの国家試験に合格するために必要な知識を学修する。 <u>病院での臨床経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床病態学Ⅱ	楠本 智章	医師として病院勤務（2004～2019）	臨床検査技師および救急救命士になるために必要な各種内科系疾患について理解し、それぞれの国家試験に合格するために必要な知識を学修する。 <u>病院での臨床経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	病理学	楠本 智章	医師として病院勤務（2004～2019）	臨床工学技士、臨床検査技師および救急救命士になるために必要な病理学の基礎知識を学修する。 <u>病院での臨床経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	環境障害・急性中毒学	楠本 智章	医師として病院勤務（2004～2019）	救急現場で遭遇することの多い急性中毒、溺水、熱中症、低体温症、高山病、減圧障害、酸素欠乏症、凍傷、紫外線障害、VDT 障害などについて基本知識を学修する。 <u>病院における救急医療経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	産婦人科学	楠本 智章	医師として病院勤務（2004～2019）	救急救命士に必要な参加・周産期医療体制および臨床産科学・婦人科学・病院前の分娩介助や緊急時の母体・新生児の処置法について学修する。 <u>非常勤の専門医とともに、病院での臨床経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>